

鶴

辞

帖

全







馬

齊

石

齊





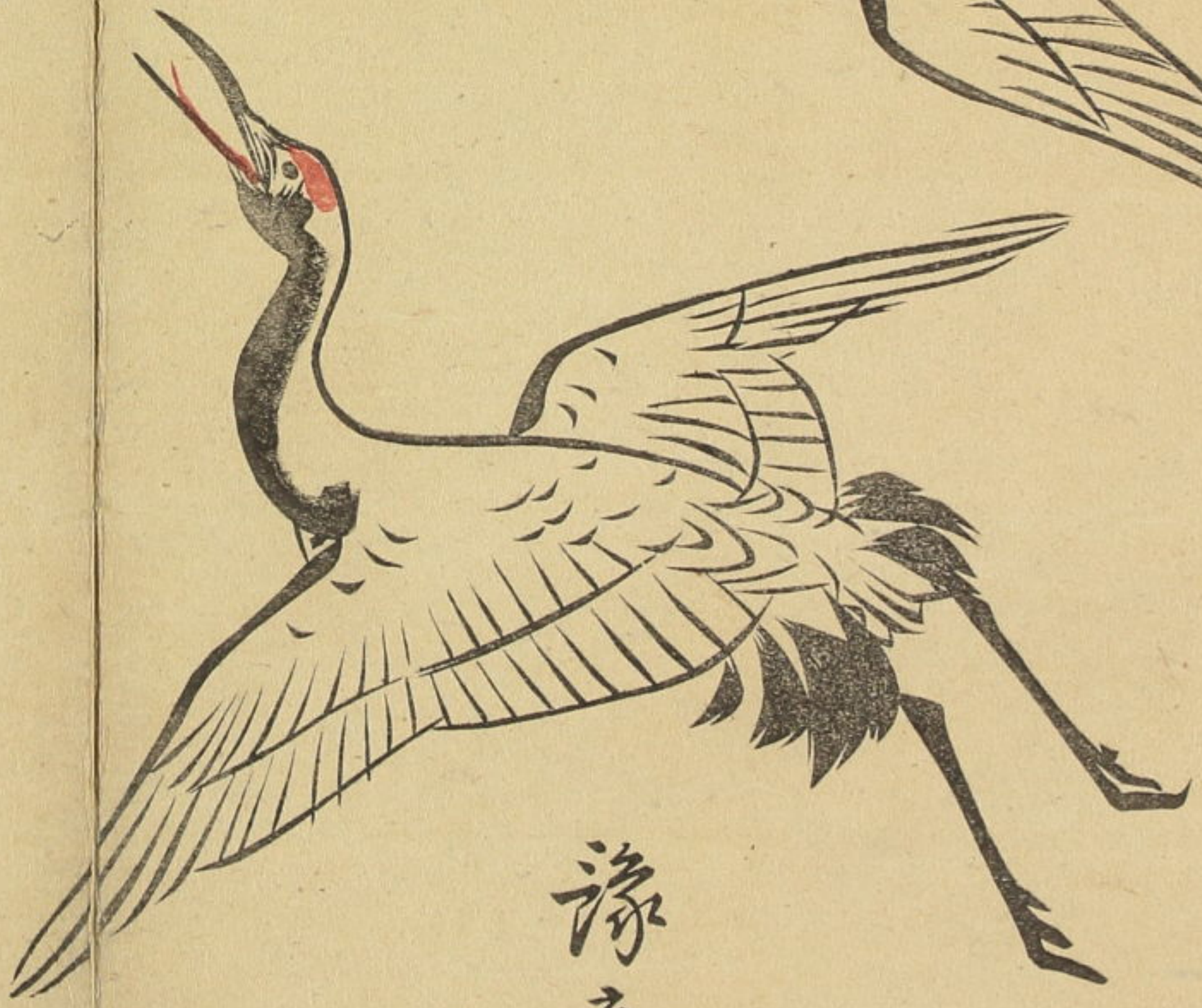
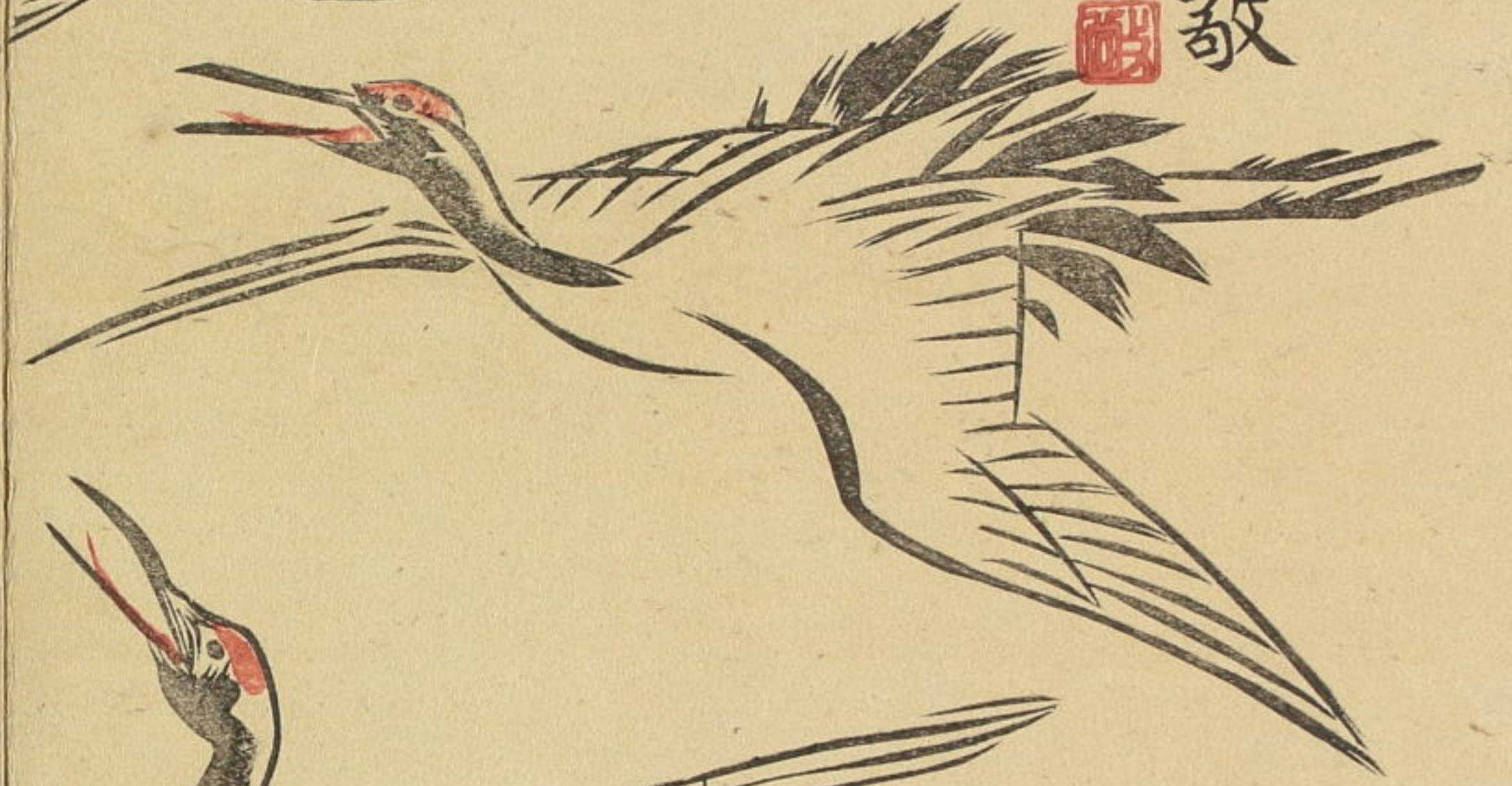
瑞鳳  
[Red Seal]



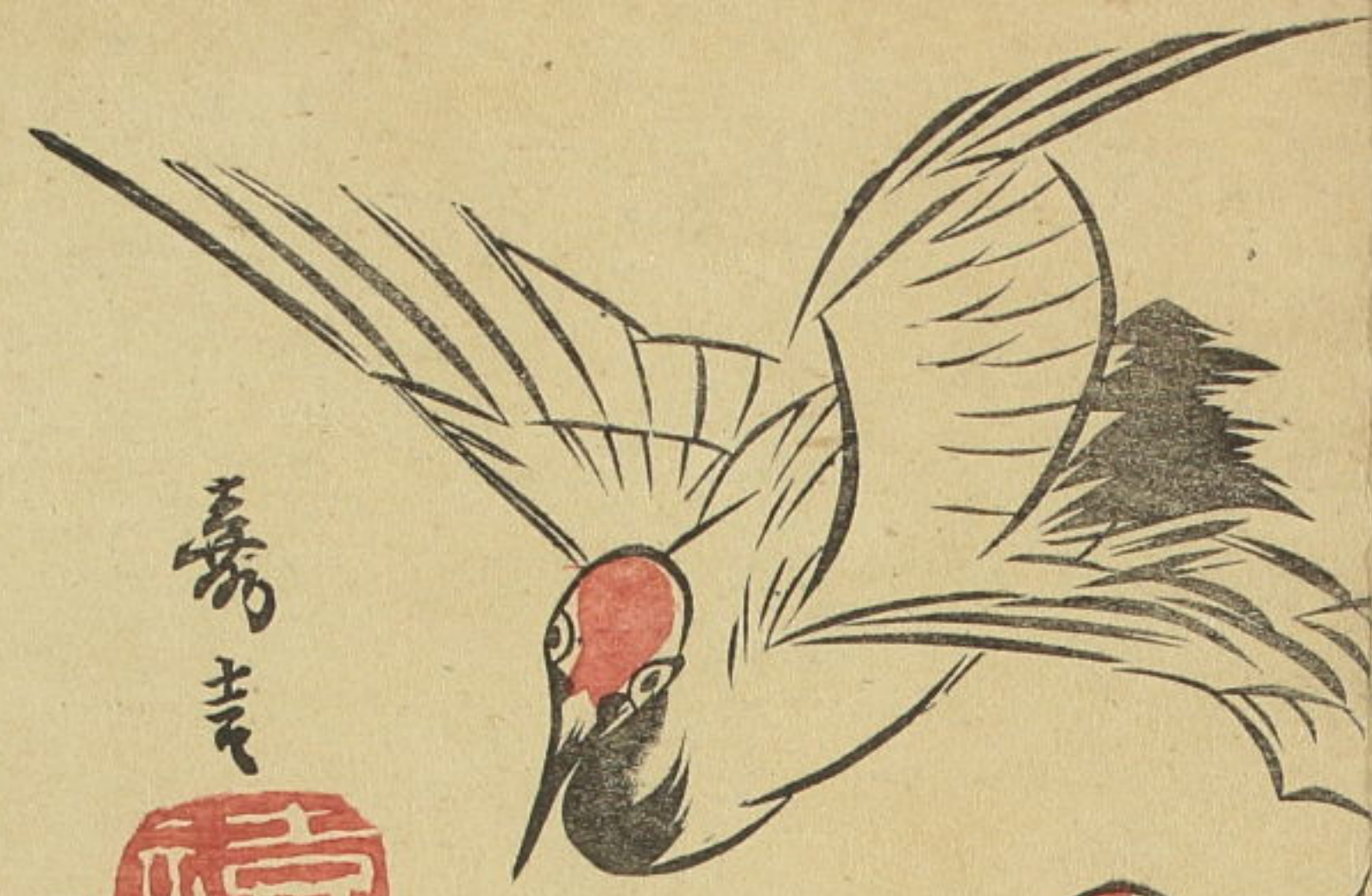
延年  
[Red Seal]



孝敬  
[Red Seal]



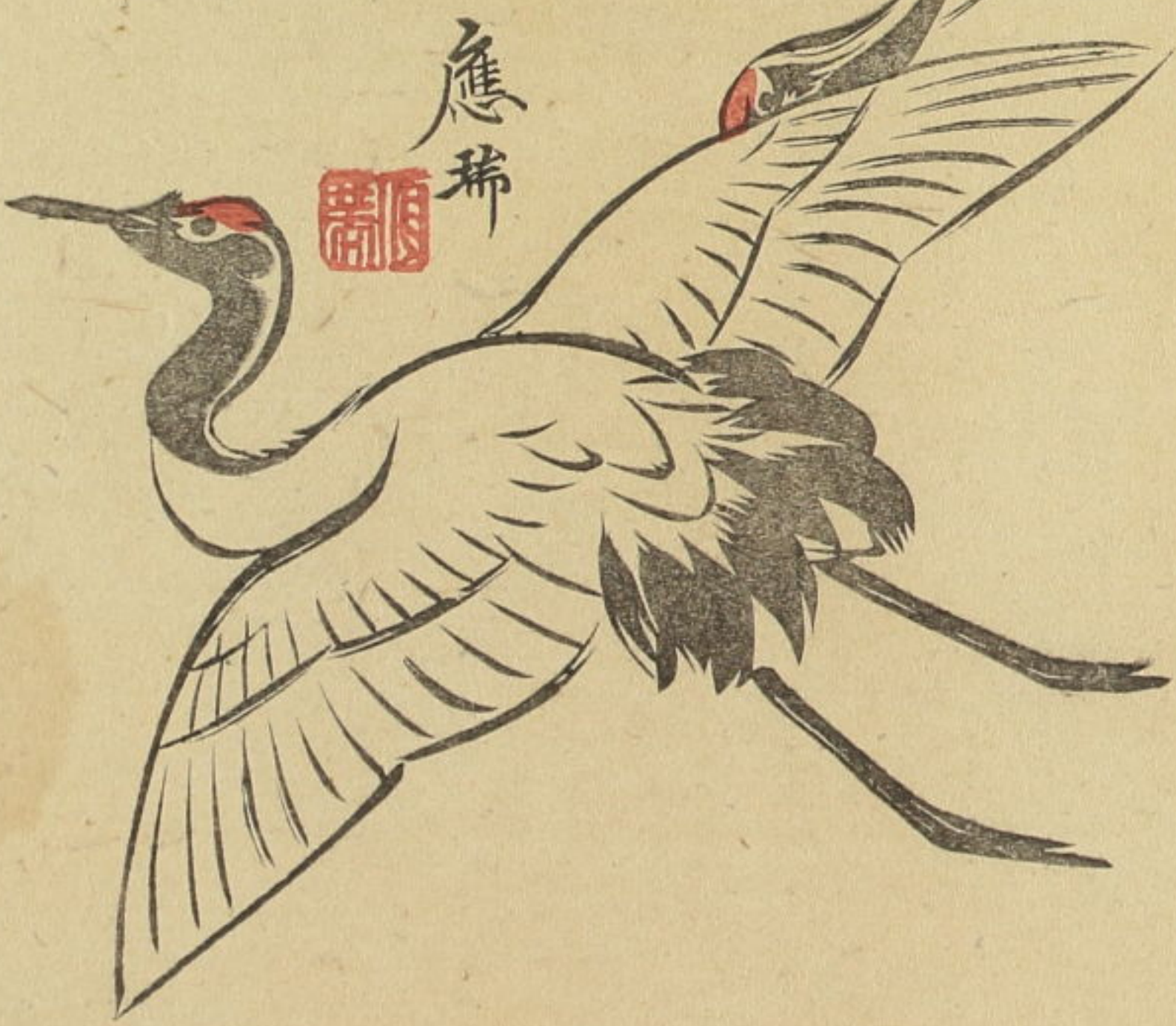
豫章  
[Red Seal]



嘉吉  
[Red Seal]



應震  
[Red Seal]



應瑞  
[Red Seal]

[Red Seal]





赤松  
[Red seal]

月峯

角

[Red seal]

十丈  
[Red seal]



平子明

赤松

[Red seal]

[Red seal]

鐵心

[Red seal]



富小路貞直卿

鳥梅の香も月

菊の香も海乃心

如流



松堂  
[Red seal]

和  
潮  
[Red seal]



澄  
美  
[Red seal]



景  
文  
[Red seal]



長  
實  
[Red seal]



ᱵᱚᱠᱟᱨᱚᱵᱟ

ᱵᱚᱠᱟᱨᱚᱵᱟ

ᱵᱚᱠᱟᱨᱚᱵᱟ

ᱵᱚᱠᱟᱨᱚᱵᱟ

ᱵᱚᱠᱟᱨᱚᱵᱟ

ᱵᱚᱠᱟᱨᱚᱵᱟ

ᱵᱚᱠᱟᱨᱚᱵᱟ

ᱵᱚᱠᱟᱨᱚᱵᱟ

ᱵᱚᱠᱟᱨᱚᱵᱟ

ᱵᱚᱠᱟᱨᱚᱵᱟ

ᱵᱚᱠᱟᱨᱚᱵᱟ

ᱵᱚᱠᱟᱨᱚᱵᱟ

ᱵᱚᱠᱟᱨᱚᱵᱟ

ᱵᱚᱠᱟᱨᱚᱵᱟ





春舟  
四







えりやあきくさうしー 流乃る 三 茶静  
心年あきくさうしー 流乃る 三 茶静

山女

あきくさうしー 流乃る 三 茶静

富士の重慶

あきくさうしー 流乃る 三 茶静

あきくさうしー 流乃る 三 茶静

あきくさうしー 流乃る 三 茶静

あきくさうしー 流乃る 三 茶静

あきくさうしー 流乃る 三 茶静

あきくさうしー 流乃る 三 茶静

あきくさうしー 流乃る 三 茶静

あきくさうしー 流乃る 三 茶静

あきくさうしー 流乃る 三 茶静

あきくさうしー 流乃る 三 茶静

あきくさうしー 流乃る 三 茶静

あきくさうしー 流乃る 三 茶静

あきくさうしー 流乃る 三 茶静

あきくさうしー 流乃る 三 茶静

あきくさうしー 流乃る 三 茶静

あきくさうしー 流乃る 三 茶静

あきくさうしー 流乃る 三 茶静

あきくさうしー 流乃る 三 茶静

あきくさうしー 流乃る 三 茶静

あきくさうしー 流乃る 三 茶静

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

茶静

茶静

北夢

吾雀

可鳥

井里

我竟

一首

馬良

白鷄

呼亭

菊奇

一柳

静輔

路堂

約丈

東蒼

牆東

西月

陶舟

如扇

屋島



七きよおりのきんさねくろねま州 安藝 玄蛙

おもしろいひくくくくく 東武 玉光

あまや大和お山ろまの 越中 鳥崩

たまろお魯又せろまねろ 湖南 葦布

まろ柳—や今なほ種をた〜寺 采友

帆〜を指ろまね柳— 近江 雲外

ないくはねよとあやあのみ柳— 三月江戸 三歩

あ屋まのりきき〜 丹后 柳紫

後備替七部

其おありの〜大の〜 其おありの〜大の〜

あ〜人の〜 あ〜人の〜

〜 播ナ 文雅叟 五芳

〜 岱李

〜 山水

〜 草垢

〜 後岐 兼舟

〜 明石 楚江

〜 湖東 探草

〜 近江 素律

〜 浪を 嗽石

〜 杜夢

〜 在戸 雪雄

〜 伊丹 寥々

〜 兵庫 墨巢











かき掛く身をとるくく 中 花 子 東武 蕉 雨

うらやまらりかきくくく 中 舟 子 寥 松

桑の湯老の小村ありや 郭 云 イタミ 大 室

新ありし中 舟 子 加 船 カク 旭 舟

花 建く 舟 小 舟 あり 花 標 タニハ 湧 出

おくく 舟 舟 あり 舟 際 鳩 エト 宇 橋

余乃もむむしつとくく 舟 舟 舟 アキ 三 枝

なくく 舟 舟 あり 舟 舟 舟 タシ 橋 中

舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 ミカハ 樗 老

舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 池田 吳 老

山 家

五月舟ありし舟 舟 舟 舟 舟 西浦 桑 注

舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 トニハ 素 明

舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 タシ 仙 海

西上人の夢  
舟の舟

舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 フシ 五 陰

舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 十二ハ 舟 友

舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 七ヨシ 碧 尾

舟の舟  
舟の舟

舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 雀 雀 双

舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 ハリ 文 卿

涼く舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 雪 雪 口

大 津

舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 仙 仙 草

舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 ナヨ 槐 翁



かきつる半町さうりあはらひと  
丹後 魏道

給きつるさうりあはらひと  
ヨハリ 宣彦

とつしや今とてあまふいふ  
ひあ 岱年

時きあはらさぬふたれくあ  
イセ 崔叟

かきつるさうりあはらひと  
あめ 小大夫

村字さうりあはらひと  
冬ハ 旭嵐

河津さうりあはらひと  
越前 伯芝

あはらひとさうりあはらひと  
紀伊 凡乙

持あはらひとさうりあはらひと  
紀伊 可章

はらひとさうりあはらひと  
石原田 定彦

くさつとさうりあはらひと  
石原田 北鱗

すさつとさうりあはらひと  
ハリノ 夢夢

おとさつとさうりあはらひと  
ヨト 普石

あはらひとさうりあはらひと  
紀田 李徑

竹仙事

はらひとさうりあはらひと  
土山 石鼓

伴傍の青森ゆきささく水鶴  
ハリノ 元山

あはらひとさうりあはらひと  
サツ ぬ水

あはらひとさうりあはらひと  
攝田

あはらひとさうりあはらひと  
サカヒ 魯岳

あはらひとさうりあはらひと  
サヌキ 芳三

あはらひとさうりあはらひと  
ナニハ 屏山

あはらひとさうりあはらひと  
ハリノ 月江

あはらひとさうりあはらひと  
ハリノ 克彦

あはらひとさうりあはらひと  
サヌキ 宗徳









清暉





秋

晴しきりしきりせきりぬゆ月報 石坂 鴻里

空の中とくくく ヒノ 和月

くくくくの秋さきりりり 甘辛 夢蝶

身なりく ヒノ 芳英

杖のせや ナニ 奇調

篠のまや 休堂

後撰

おのひ 霍棲

文 イセ 也後

ゆ ハリニ 奥村

ち 東武 文貫

新 イセ 園叙

秋風天高なるは 秋風のきき

か 秋風を西風のきき

海 ハリニ 玉屑

八月乃 ナニマ 月底

宿屋

か ナニ 梅又

き イセ 芙蓉

く カタ 文章

け ナニ 竹昔

山中天高なるは

ゆ 東武 抱我

も イセ 宗符

ま ナニ 公路







る所抄をいふ出〜〜出ぬ〜〜一

アキ

篤老

能くせきつ〜〜極よもるさう那

三カハ

卓池

秋のりれ海ハは〜〜もさ〜〜られき

佳石

〜〜あ〜〜き〜〜か〜〜お〜〜か〜〜

代々

南路

抄〜〜あ〜〜や〜〜お〜〜し〜〜た〜〜た〜〜た〜〜

十二カ

冬色居

〜〜田〜〜あ〜〜す〜〜た〜〜

ま〜〜り〜〜さ〜〜ふ〜〜ま〜〜ふ〜〜す〜〜れ〜〜卦

ノト

晩籟

〜〜あ〜〜ら〜〜せ〜〜ぬ〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜

城長豆

光山

〜〜す〜〜あ〜〜も〜〜あ〜〜ふ〜〜ふ〜〜あ〜〜あ〜〜

九糸

〜〜あ〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜

〜〜あ〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜

昭重

〜〜峰

〜〜あ〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜

二十ノ

未未

〜〜あ〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜

アハ

可大

〜〜あ〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜

イセ

雲石

〜〜あ〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜

二十ノ

美人

〜〜あ〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜

十二ハ

宗舟

田上乃中〜〜あ〜〜す

〜〜あ〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜

十二ハ

陶器

〜〜あ〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜

十二ハ

雪雪

〜〜あ〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜

ヨハリ

芝石

〜〜あ〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜

十二ハ

子能

〜〜あ〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜

丹波

野揚

九カ野〜〜あ〜〜す

〜〜あ〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜

信楽

美九

〜〜あ〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜

イセ

聳山

〜〜あ〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜ら〜〜

サマキ

茂権

ア二





石山山人寫





植ふあけ手もあけしるし〜運うか 風也

歳れゆく初めしきりりあけ月 舟田 去和

降うけの十粒を志らぬ〜きこ〜 十二 其就

志らぬある日とさ〜 松坂 夜白

半ふら〜し〜 素求

一一双ふ手千人粒とが〜人りきか〜 十二 卧鵬

病〜いふか〜ぬお〜り〜 十二 舟居

意の〜〜あ〜し〜さよふ〜り 十二 雲城

風〜あ〜り〜 十二 武陵

か〜あ〜や〜あ〜な〜り〜 十二 葵堂

あ〜あ〜つ〜ゆ〜 十二 干尚

風越お葦をさぬ 十二 佛朔

歩雲か〜 十二 九歌

身〜あ〜ら〜 十二 格雪

お〜り〜あ〜 十二 鵬水

あ〜ら〜 十二 雪鴻

あ〜ら〜 十二 椿老

あ〜ら〜 十二 百生

あ〜ら〜 十二

あ〜ら〜 十二

あ〜ら〜 十二

あ〜ら〜 十二

あ〜ら〜 十二

あ〜ら〜 十二









其成史以能歌自娛  
 之集能歌作一書款  
 吾有言吾於能歌不知  
 之有何娛唯史之使娛  
 之乎久之予無能




霍嘉祐後篇

游庵帖

お着はるゝ世末言古名家の  
 中季の画并名家の書句  
 物前と集む

又政十子子子

輯者 醉室 寸成 

是の書 法書河内南朝大下  
 是の書 是の書 是の書

題冊類 題字切の法と状帖  
 技抄 小沢集 品々

法集冊法抄の法用向の法付る事



